

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ラフカwith		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 25日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 1月 25日		2025年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の人数や状態に対する手厚い職員数の配置	全職員が有資格者で、平日は5~8名、土曜は3~5名の職員で手厚く支援を行えるようにしています。あわせて、子どもたちに寄り添う声掛けを日々心掛け、安心して過ごせるように努めています。	引き続き外部や内部での研修を行ったり、児童に対する関わり方について日々検証や共有の機会を設けたりすることにより、充実を図っていきます。
2	構造化を多数取り入れた環境	写真やイラストなどを用いた視覚的な構造化、流れや順番などを各場所に掲示する時間的な構造化、物の整理場所を全て決めて提示するなどといった物理的な構造化など、分かりやすい環境を整えています。	新規で利用を開始する児童にあわせた構造化や、子どもの成長に伴い必要な構造化について日々考え、必要に応じて素早く導入を行います。
3	日々の保護者との連携	送り迎えでお越しいただいた際の情報共有に加えて、日々のサービス提供記録を用いた報告を行うと共に、メールや電話での相談事への対応など、個別で細やかに支援を行っています。	引き続き児童の様子をよく見て、報告や相談の機会を設けていきたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域での活動や交流が難しい時がある	安全に戸外へ出ることを想定した職員の人数の確保が必要になってくると思われます。年々増える事務作業への対応策も検討する必要があります。	新しい従業員の雇用を進めています。室内での活動の更なる充実も図れるように、各職員が日々検討しています。
2	保護者同士の横の繋がりがあまりない	どのように横の繋がりを作ることができるのか、様々な障害種別や年齢の児童が在籍し、保護者にも様々な考え方があって、難しく感じています。	保護者会やそれに代わる何らかの集まりの機会について、検討をしています。
3			